

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

| | |
|---|---------------|
| 名称：ベネッセ青葉台保育園 | 種別：認可保育所 |
| 代表者氏名：橋本 裕美 | 定員（利用人数）： 70名 |
| 所在地：〒227-0063 横浜市青葉区榎が丘2-3 | |
| TEL：045-982-9822 | |
| ホームページ： http://www.benesse-style-care.co.jp | |

【施設・事業所の概要】

| | | |
|---|--|---------------|
| 開設年月日 2015年10月1日 | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー | | |
| 職員数 | 常勤職員： 17名 | 非常勤職員： 17名 |
| 専門職員 | 栄養士 2名 | 看護師 1名 |
| | 幼稚園教員免許 6名 | |
| 施設・設備 の概要 | (居室数) | (設備等) |
| | 保育室4室、厨房1室、職員休憩室1室、事務室兼医務室1室、相談室1室、沐浴室1室 | ●園舎は2階建て、屋上あり |

③理念・基本方針

| |
|--|
| 保育理念 「よりよく生きる力=Benesse」の基礎を育てる いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます |
| 保育方針 ・子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます ・自然な生活の営みの中で子どもが「安定感・安心感・落ち着きを持てる室内環境」をつくります ・深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します ・身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします |
| 保育目標 ・自分で考え、すすんで行動する子ども ・友だちと楽しく遊ぶ子ども ・感性豊かな子ども |
| 保育姿勢 ・一人ひとりの気持ちに寄り添い、子どもが尊重されていると感じる保育 ・本物に触れながら、遊びは学びと確信を持つての保育 |

④施設・事業所の特徴的な取組

| |
|---|
| ・乳児は特定の保育者との関わりを大切に、子どもが安心して信頼できる大人との愛着関係を育んでいます。子ども同士の関わりが深まる幼児期には保育者との関係を基盤にしながら、生活集団を異年齢で構成し、自立心・社会性を育んでいます。 ・クラスの今日の子ども様子を伝えられるように、写真を使い掲示しています。 |
|---|

- ・食事の時間を大切にしています。
幼児クラスでは、机にテーブルクロスをかけ本物の花を飾り清潔で暖かい雰囲気を作り、バイキング形式で行っています。
- ・外部有識者をアドバイザーにお招きして、年3回の巡回指導をいただき、幼児クラスの製作コーナーの充実、環境設定の見直しを行い製作遊びを通しての子どもの育ちを大切にしています。子どもたちは自由に使える素材が十分にあり遊びに集中できる場所で満足する時間が確保されています。この環境や保育者のかかわりによって子どもたちが自由に表現したり工夫する力が伸びてきています。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 評価実施期間 | 2019年7月10日（契約日）～2020年3月30日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 1回 |

⑥総評

◆特に評価の高い点

1、子どもが主体的に遊べる環境構成

保育室には、年齢や発達にあわせたおもちゃが子どもの目線に合わせて並べられ、ままごとや机上遊びなどのコーナーが設けられていて、子どもが好きな遊びを選んで落ち着いて遊べるようになっています。幼児は、既成のおもちゃは最小限にし、色画用紙や折り紙、毛糸等の素材や廃材などが豊富に用意され、すぐに調べられるよう作り方の本や図鑑が子どもの目の留まる所に置かれていて、子どもが自分達で好きなおもちゃを作って工夫して遊べるように環境構成されています。3・4・5歳児の異年齢のクラスとなっていて、年上の子どもの姿を真似て、年下の子どもたちも作品作りに没頭しています。作品が貯まると子どもたちから声が上がってお店屋さんごっこをするなど、主体的に遊びを広げています。保育士は、子どもの様子を見て素材を入れ替え、子どものやりたい気持ちを叶えられるようにしています。子どもたちはお店屋さんごっこから地図作りやお手紙ごっこ遊びを広げたり、遊びの中で不思議に思ったことを図鑑で確かめるなどして、遊びを通して様々な学びを得ています。

2、子ども一人一人を大切にされた保育の実践

保育方針に子どもの個性と人権の尊重を掲げ、一人一人の子どもの気持ちを大切にしています。保育士は、職員会議で子どもへの関わり方について具体的な事例をあげて確認して目指す方向性を確認し、連携しています。

乳児は、担当制を取り、特定の保育士との関わりを通して愛着関係を築き、安心して自分の気持ちを出せるようにしています。保育士は、子どもに優しく接し、言葉にならないつぶやきにも応じて言葉を引き出しています。幼児になると、自分の考えを友達の前で発表したり、友達の考えを聞いて考えたりすることができるように育っています。子どもたちは、「やりたい気持ち」や「やってみたい気持ち」を保育士に優しく受け止めて後押ししてもらっていて、のびのびと自分の気持ちを言葉や身体で表現し、園生活を元気に過ごしています。

◆改善を求められる点

1、地域とのさらなる交流

子どもたちは毎日のように近隣の散歩に出かけ、地域住民と交流していますが、地域の行事に参加したり、地域のお年寄りと交流したりするなどは行っていません。また、自治会には参加しているものの、地域の福祉ニーズを把握したり、防災について話し合うなどはしていません。育児支援事業についても、離乳食相談や育児相談を受け付けているものの参加者は少ないです。子どもたちが地域を知り、様々な交流を通して生活の幅を広げるためにも、さらなる取り組みが期待されます。また、積極的に地域へ向けて園の活動を発信するとともに、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価は「ベネッセ青葉台保育園」がこれまで積み上げてきたこと、取り組んできたことを評価いただくことで、次へのステップへとつながる意欲が生まれると考え、受審させていただきました。

調査委員の方々には、丁寧な実地調査や、ヒヤリングをしていただき、安心して評価を受けることができました。

約半年間の準備期間中は職員全員が一体となり、自己評価に取り組むことで日々の振り返り、保育をする上で大切にしていることの再確認ができ、保護者の皆様からのご意見やご要望などもいただくことで、新たな課題も発見することができました。これからの改善に取り組みながら今後の保育運営に生かしていきたいと思っております。

また保護者の皆様からのアンケートの総合満足度では、「満足、どちらかといえば満足」の結果が、100%という高い評価を頂き感謝を申し上げます。この結果は職員全員の大きな励みとなり、さらなる意欲へと繋がりました。

今回の評価やコメント、アンケートの結果をしっかりと受け止め、新たな気持ちで保育をすすめていきたいと思っております。ありがとうございました。

ベネッセ青葉台保育園
園長 橋本 裕美

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり